

特別研修 JGAP 指導員新旧差分研修＜青果物・穀物・茶＞の概要

JGAP 指導員新旧差分研修の目的

- ① 総合規則 2017 と総合規則 2022 の違いを理解する。
- ② JGAP2016 と JGAP2022 の管理点、適合基準の違いを理解する。
- ③ JGAP/ASIAGAP 指導員の資格を更新する。
※指導員登録のない方は当該研修の受講による指導員登録はできません。

JGAP 指導員新旧差分研修＜青果物・穀物・茶＞内容

- ・ 『JGAP2022』開発の背景
- ・ 『総合規則』の変更点
- ・ 『農場用管理点と適合基準』の変更点
- ・ 『団体事務局用管理点と適合基準』の変更点
- ・ 審査について
- ・ 質疑応答
- ・ 試験配布・説明
- ・ 受講者アンケートの回収

試験および修了合格の基準

- ・ JGAP 指導員新旧差分研修には持ち帰りの試験があります。研修終了時に試験用紙を配布いたしますので、解答のうえ、提出期限までに郵送してください。
- ・ 合格基準は以下の通りです。
 - 研修期間中の出席時間が全体の 90%を超えていること かつ
 - 試験の得点が 80 点を超えていること

合否の発表、再受講、再試験について

- ・ 採点の結果、合格した受講者には合格証を送付いたします。また、日本 GAP 協会より指導員カードが送付されます。(試験受領から合格証送付までにおおむね 1.5 ヶ月の期間を要します)
- ・ 試験の得点が 80 点未満の受講者は、1 か月以内に 1 度だけ試験を再提出することができます。試験の再提出をしても不合格となった受講者には、修了証を送付いたします。
- ・ 研修期間中の出席時間が 90%に満たない受講者は、12 か月以内に 1 度だけ再受講することができます。再受講しても条件を満たせない場合には、修了証を送付いたします。